

◆ 2019年度活動報告シート ◆

団体名：NPO法人 ジョイライフさやま

21A-01

代表者：代表理事 久保田慎三郎

URL : <http://www.joylife.or.jp>

1. 活動が必要とされた状況



何年も環境保全に取り組んできた活動が一瞬にして瓦礫の山と化してしまい、残念な事と成ってしまいました。草花で緑に覆われていた景観が土砂と流木瓦礫で緑が消え一帯が泥沼と変わりました。どこから手を付けていいか途方に暮れています。取り敢えず大きな流木を集め伐採しながら少しずつ片付けに精を出しています。会議では機械のリースや業者依頼の意見も出ていますがコストの点で難しい点があります。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）



台風被害の前に自然保全を通してイベントを行えたことは大変有難く思っています。今年初めての新事業となる漁業協同組合の応援を貰い水環境の学習が行えました。川底生物による水質調査、地曳網による川の生態系を知る調査など今まで体験したことのない豊富な魚の種類を知り、川の中でも魚同士の生き方が解り学習の成果を上げることが出来ました。また、草加パトラーズの方々にカヤック乗りを指導してもらい交流を盛り上げて頂き、環境整備に取り組む大切さを学習できたことも大変有難く思っています。当日は当市の市長並びに県の環境担当県議にもご参加いただき水辺周辺の環境衛生についてもお話をさせて頂く機会にも恵まれました。

3. 活動の成果



荒れ、人の出入りも出来なかった樹林ですが、今年この樹林を有効活用して親子で遊び、学べる自然の森遊び、プレイパークを行うことが出来ました。ゴールデンウィークが始まる直前で、この時期、外来種でもあるハリエンジュ（ニセアカシア）の花が満開となる季節でもあり緑多き樹林で、ターザン小屋を作り、丸太切り、薪割り、木工細工、ブランコ、綱渡り、木登りと沢山の遊びを交え、木育の環境学習が行えました。

4. 今後に残された課題

夏休みのイベントで暑さ対策の必要を痛感させられました。日影が少なく対応を考えています。台風、大雨による樹林流木瓦礫被害のゴミ泥小枝などは手作業で進めています。中には電柱より太くて長い大木が流されてきてしまい重機を使わなければ作業が進まない事も有り土建業者に相談しています。新事業となったプレイパークの開催が危ぶまれています。整備活動に力を入れて行きたいと思えます。